しんぶん赤旗 日曜版
日本共産党中央委員会
Webで購読申し込み
月990円(1部250円)
2026年（令和８年）
11月22日
日刊通巻第27209号
〒151-8586東京都渋谷区千駄ケ谷4の26の7
☎03(3403)6111 ©日本共産党中央委員会2026年 www.jcp.or.jp 1952年5月30日第３種郵便物認可

日本それでホントに大丈夫?!

「トランプの戦争ＮＯ」米で審判



トランプ政権に国民的審判を下した選挙結果に喜ぶＤＳＡ会員や若者ら＝３日、ワシントン（洞口昇幸記者撮影）

大統領、ずっとついていきます！



高市首相は大軍拡



ICAPP第13回総会の全体会合で発言する志位議長



発言を聞く参加者＝５日、ソウル（面川誠記者撮影）

平和の本流示したアジア政党会議

「日米関係を強化すべくトランプ大統領とも協力していきたい」（５日）―。米中間選挙結果について記者団に問われた高市早苗首相の言葉です。米中間選挙では、綱領で「ＵＳ戦争マシンを終わらせる」として軍事費の大幅削減や海外軍事基地の閉鎖などを掲げた「米民主的社会主義者（ＤＳＡ）」が躍進。上下両院で与党共和党が惨敗し、トランプ米政権にノーが突きつけられたのにです。（詳報３面）

そんな高市政権が突き進んでいるのが、年末に決定を狙う安保３文書の改定作業。焦点の一つである軍事費の大幅増額を巡り、防衛省は今後５年間（２０２７～３１年度）の総額として最大で80兆円と見積もっているとされます。

トランプ政権が在日米軍駐留経費負担（「思いやり予算」）を５年間で現行の３倍程度となる3兆円超を要求していることも明らかになっています。

北東アジアでは、日本と韓国と米国、中国とロシアと北朝鮮がそれぞれブロックとなり軍拡競争し、固定化する危険が強まっています。

日本共産党代表団（団長・志位和夫議長）をはじめ36カ国、83政党が参加したアジア政党国際会議（ＩＣＡＰＰ）の第13回総会（４～６日、ソウル）。「分断を乗り越え、世界が競合するブロックに分かれて固定化するのを防ぐ」と明記した宣言を採択しました。これこそアジアの平和の本流です。（詳報４面）

志位氏は15日、都内で開かれた「改定綱領案の魅力を語る」で力をこめて訴えました。

「（高市政権は）ブロック的分断を煽り立て、それを利用して大軍拡をやる。アメリカの方だけをみて、アジアの平和の本流が目に入らない。こんな政治は変えよう」

５面につづく

米一辺倒の政治が問われる



ジャーナリスト 青木 理さん

日本の高市政権は、外交はアメリカ一辺倒、中国とは断絶状態です。そのアメリカの中間選挙でトランプ共和党が歴史的大敗を喫しました。「世界に平和をもたらすのはドナルドだけ」とまで媚びていた高市首相は、今後いったいどうするつもりでしょうか。米一辺倒で大軍拡するような道を進んでいいのかが問われています。（比例代表削減問題でのインタビュー30面）



消費税「１億人増税」の現実 5
比例削減反対 広がる声 2 30
「防災庁」発足 あくまで第一歩 31
スーパーカミオカンデ30年 16 17
素粒子で探る宇宙の歩み
改定綱領案の魅力Q&A 6 7
赤旗名人戦 互角の熱戦 20 21
囲碁 大関 稔さん
将棋 所 隆之介さん
長生炭鉱 韓国遺族会の願い 14
金平茂紀さん メディア日誌 15
ふしぎ実験 ボトルの中に雲 11
石川文洋さんの素顔
認知症の人に どう寄り添うか 9
河邑厚徳監督 27
川畑 智さん
ひと 平 祐奈さん 32